

JFA第11回全日本U-18フットサル選手権大会栃木県大会 大会要項

1 名称：JFA第11回全日本U-18フットサル選手権大会栃木県大会

2 主催：公益社団法人栃木県サッカー協会

3 主管：（公社）栃木県サッカー協会フットサル委員会、栃木県フットサル連盟

4 日程：＜開催日＞ 2024年5月5日（日）

＜会場＞ マルワ・アリーナとちぎ栃木市総合体育館

5 参加資格：

(1) フットサルチーム登録の場合

- ① 公益財団法人日本サッカー協会（以下、「日本協会」とする。）に「フットサル2種」「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。（準加盟チームを含む）
一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「フットサル2種」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「フットサル3種」年代のみとし、「フットサル2種」及びそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
- ② 前項のチームに所属する2006年4月2日以降、2012年4月1日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
- ③ 外国籍選手は、1チームあたり3名までとする。ただし、準加盟チームはこの限りでない。

(2) サッカーチーム登録の場合

- ① 日本協会に「2種」「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。（準加盟チームを含む）一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2種」「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「3種」年代のみとし、「2種」年代及びそれ以上の年代の選手は適用外とする。
- ② 前項のチームに所属する2006年4月2日以降、2012年4月1日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。ただし、準加盟チームはこの限りでない。
- ④ 高体連加盟チーム、および学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高専、第124条の専修学校、第134条の各種学校のチームに関しては高体連主催大会の規程に準じる。

(3) 都道府県大会、地域大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。

所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

(4) 選手は、本大会において複数のチームで参加できない。

(5) チーム代表者は、20歳以上で当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。
なお、複数のチームの代表者を兼ねることはできない。

(6) 参加選手は、傷害保険（スポーツ傷害保険）等に加入していること。

(7) チームにフットサル審判資格を取得している者が2名以上いること。

※ 資格保有者が2名以上いない場合は、以下の取得講習会を受講して取得すること。

期日 2024年4月28日(日) 9:30受付 15:50終了予定

場所 清原工業団地管理センター 大会議室/大ホール

申込期間 2023年4月1日~4月21日

(公財)日本サッカー協会のホームページの中から KICK OFF から申込みこと。

定員オーバーで申し込みができない場合は、山口まで連絡ください。

- 7 参加チーム：参加チームは、上限を6チームとする。
ただし、1団体からの出場チーム数は上限を2チームとする。
- 8 大会形式：原則として、リーグ戦方式及びノックアウト方式で行う。
※参加チーム数によって競技形式を変更する場合もある。
 - (1) 1次ラウンド：リーグ戦を行い、各グループ上位1チームの2チームが決勝ラウンドに進出する。
順位は、グループ内の勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。
ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム内の対戦成績
 - ② 当該チーム内の得失点差
 - ③ 当該チーム内の総得点数
 - ④ グループ内の総得失点差
 - ⑤ グループ内の総得点数
 - ⑥ 下記に基づくポイント合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告1回 1ポイント
 - (イ) 警告2回による退場1回 3ポイント
 - (ウ) 退場1回 3ポイント
 - (エ) 警告1回に続く退場1回 4ポイント
 - ⑦ 抽選
 - (2) 決勝ラウンド：ノックアウト方式で優勝チームを決定する。
- 9 組み合わせ：代表者会議の時に抽選を行う。
- 10 競技規則：大会実施年度の「フットサル競技規則」による。
- 11 競技会規定：下記の通りとする。
 - (1) ピッチサイズ：原則として、40m×20mとする。(使用会場による)
 - (2) 使用球：日本サッカー協会公認フットサル用ボール4号球とする。
 - (3) 競技者の数
 - ① 競技者の数：5名
 - ② 交代要員の数：9名以内
 - ③ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内。準加盟チームはこの限りでない。
 - (4) チーム役員の数：3名以内 ただし、通訳が登録している場合は4名以内
 - (5) 競技者の用具
 - ① ユニフォーム
 - (ア) 日本協会のユニフォーム規程に基づいたユニフォームを使用しなければならない。
 - (イ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい1着以上のユニ

フォーム（シャツ、ショーツ及びソックス）を参加申込書に記載し、各試合に必ず携行すること。（正・副2着以上が望ましい。）

※ 関東大会では正・副2着のユニフォームを持参しなければならない。

- (ウ) チームユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- (エ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩及び同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
ただし、ケガや退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合に限り、主審の判断により、ゴールキーパーのユニフォームを前述以外のユニフォーム等で代用することができる。
- (オ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- (カ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- (キ) ユニフォームへの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示に生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
- (ク) 正・副の2色については明確に異なる色とする。
- (ケ) 主審は、対戦するチームの色彩が類似しており判別しがたいと判断したときは、両チーム立会いのもとに、その試合において着用するユニフォームを決定する。
- (コ) 前項の場合、主審は、両チームの各2組のユニフォームのうちから、シャツ、ショーツ及びソックスのそれぞれについて、判別しやすい組み合わせを決定することができる。
- (サ) ソックスにテープまたはその他の材質のものを、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくてもよい。
- (シ) アンダーシャツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。GKは除く。
- (ス) アンダーショーツ及びタイツの色は問わない。ただし、原則としてチーム内で同色のものを着用する。GKは除く。
- (セ) 膝および腕のプロテクターを着用する場合、シャツの袖の主たる色と（腕のプロテクター）、ショーツまたはトラックスーツのパンツの主たる色（膝のプロテクター）と同じ色でなければならない。色が合わせられない場合、シャツの袖やショーツ（または、着用する場合はトラックスーツのパンツ）がどのような色であっても、黒または白のプロテクターを着用することができる。シャツの袖またはショーツ（または、トラックスーツのパンツ）と色が合わないプロテクターを着用する場合、そのプロテクターはすべて同じ色でなくてはならない。（黒か白で）
※ プロテクターの色組み合わせは競技者一人一人に適用され、各チームすべての競技者のプロテクターが同じ色、同じ組み合わせである必要はない。
- (ソ) その他のユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規定に則る。

- ② 靴：キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が紺色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用のシューズタイプのもの。（スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。ただし、ノンマーケティングシューズは、靴底が着色されたものの使用は施設が許可している場合のみ使用可能となるため、十分に注意すること。）
- ③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。
- (6) 試合時間：30分間（各15分間からなる2つのピリオド）のプレーイングタイムとし、ハーフタイムのインターバルは5分間（第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで）とする。
※但し、参加チーム数により試合時間・計測方法を変えることがある。
- (7) キックオフ：コイントスに勝ったチームが第1ピリオドまたは第2ピリオドのどちらにキックオフを行うかを定める。競技会規定に定められていない限り、ホームチームが第1ピリオドにどちらのゴールを攻めるのか選択する。また、延長戦が行われるときも同様。
- (8) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）
 - ① 準決勝までは延長は行わず、PK戦により勝敗を決定する。
PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。
 - ② 決勝のみ6分間（各ピリオド3分間）の延長戦を行い、なお決しない場合はPK戦により勝敗を決定する。延長に入る前のインターバルは3分間とし、PK戦に入る前のインターバルは1分間とする。
 - ③ 一方のチームの責に帰すべき事由により試合開催不能または、中止の場合（不戦敗等）には、その責に帰すべきチームは0対5で敗戦したものとみなす。
- (9) ベンチに着席できる人数は、フットサル大会登録票によりあらかじめ登録され、試合前に提出したメンバー票に記載された交代要員9名・役員3名（通訳がいる場合は4名）を含め12名を上限とする。選手及び役員を兼任する場合は、ベンチ入り人数において選手・役員双方に記入するものとする。また、役員が3名を超えない場合に限り、試合に出場しない登録選手を役員として試合登録役員としてベンチ入りを認める。なお、この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装とする。
- (10) 試合開始以前に提出されるメンバー表に記載され、大会登録選手で出場資格を有すると確認されている選手が、試合開始時に不在の場合は、以下のとおりとする。
 - ① 第1ピリオドキックオフ後、第2ピリオドキックオフ前にピッチに到着した場合
前半は出場できず、ベンチに入ることもできない。ハーフタイムの時間内に主審の承認を得ると、後半開始時より試合に出場できる。
 - ② 第2ピリオドキックオフ後、ピッチに到着した場合
試合に出場できず、ベンチに入ることもできない。
- (11) 試合中の飲料は水のほか、スポーツドリンク、経口補水液も可とする。ただし、指定された場所でのみ認める。ピッチ内での飲水は認めない。

12 懲 罰：

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処置については当大会規律・フェアプレー委員会において決定する。
- (2) 本大会の期間中、警告の累積が2回に及んだ選手は自動的に本大会の次の1試合に出場できない。
- (3) 前項により出場停止処分を受けたとき、大会終了時点で警告の累積が1回のとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。

- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、関東大会を懲罰規定上の同一競技会とみなし、順次消化するものとする。関東大会に出場しない場合は、当該チームが出場する直近のフットサル公式試合にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。本大会の大会規律委員長は、県協会フットサル委員会の委員長とする。

13 参加申込：

- (1) 1チームあたり24名(選手20名、役員3名)ただし、通訳を含む場合は4名以内)を上限とする。
- (2) 参加申込みは、大会参加費の振り込みならびに下記の書類に必要事項を記入の上、大会申込書を下記申込期日までに申し込むこと。

注) 登録票・参加申込書は送付したエクセル形式で送付すること。(PDSは不可)

- ① 登録票・参加申込書(申込み締め切り日までに、下記梅澤宛メールすること。)

(公社) 栃木県フットサル委員会 梅澤奈津希

メールアドレス tochigi.ff.2002@gmail.com

- ② 大会参加費納入報告書 振込み明細書のコピーを添付(申込み締め切り日までに納入すること)
- ③ ユニフォーム広告掲示(回答)の写し(ユニフォームに広告等がある場合)

※ ② ③は監督会議に持参すること。

- (3) 申込締切日：2024年4月21日(日) 必着
- (4) 前項の申込み締切日以降の参加申込み内容の変更は認めない。

14 参加費：25,000円(サッカー登録チーム 27,000円)

注) サッカー登録チームは、参加費に加えて日本フットサル連盟チーム登録金2,000円と、栃木県フットサル連盟チーム分担金2,000円を加えて振り込むこと。(複数チーム参加の場合は、まとめて納入すること。)

振込先口座：足利銀行 一条町支店 普通 3298034

公益社団法人栃木県サッカー協会(一般) 代表理事 橋本健一

※ 必ず「チーム名」を明記して、申込み締め切り日までに振込のこと。

15 代表者会議・マッチコーディネーションミーティング：

参加チーム代表者と審判員との代表者会議、マッチコーディネーションミーティングを以下の通り行う。チーム代表者は必ず代表者会議、マッチコーディネーションミーティングに出席しなければならない。

※ 代表者会議に、無断で「欠席」「遅刻」したチームは主催者の判断に委ねる。

- (1) 日 時：2024年5月5日(日) 9:15~
- (2) 場 所：会場にて行う。

<会議に持参する物>

- ① 参加申込書の原本 1部
- ② 参加費振込み明細書のコピー
- ③ ユニフォーム、ビブス
- ④ メンバー表(4枚セット)3試合分

(3) マッチコーディネーションミーティング：

マッチコーディネーションミーティングは、前の試合の第2ピリオド開始時から行う。ただし、第1試合については30分前とする。15分以上遅刻の場合は、不戦敗(0-3)とする。

ユニフォーム(正・副)とビブス(2色)、メンバー表4部(チームで印刷)を持参すること。

メンバー表は、大会参加申込書のシートを使用すること。

また、コイントスによりピッチエンド、キックオフを決定する。

16 選手証：

各チームの登録選手は、原則として日本協会発行の選手証を試合会場に持参すること。ただし、写真貼付により、顔の認識できるものであること。選手証が確認できない場合は、試合に出場できない。

※ 選手証とは、日本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証、選手登録一覧を印刷したもの、またはスマートフォンや PC 等の画面に表示したものを示す。

17 表彰：優勝・準優勝チームを表彰する。

18 出場権：

優勝チームは栃木県代表として、関東大会に出場する義務と権利を有する。

日程：2024年6月15日（土）・16日（日）

場所：山梨県 小瀬スポーツ公園体育館

19 傷害補償：チームの責任において傷害保険に加入していること。

20 負傷対応：競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。

21 その他：

- (1) 大会参加の注意事項及び使用施設の利用規則等を遵守する。
- (2) 試合日程は、栃木県協会フットサル委員会内で協議し決定する。
- (3) 参加チームは、栃木県協会フットサル委員会において特別な事情がある場合、日程等の変更に応じなければならない。
- (4) 大会要項に違反し、その他、不都合な行為のあった個人またはチームは出場を停止する。リーグの場合は勝ち点を剥奪、トーナメントの場合は棄権とする。
- (5) 競技中の疾病、傷病等の応急処置は主催者側で行うが、その後の責は負わない。
- (6) ピッチレベルでの水分等の補給は、指定した場所でのみ認める。ピッチ内は認めない。
- (7) 本大会の試合に関する動画・写真等の権利は全て栃木県協会フットサル委員会に帰属する。
- (8) ごみはすべて各チームで持ち帰ること。また喫煙は指定された場以外ではしないこと。土足も厳禁とする。
- (9) 指定された場所以外でのボールの使用は禁止する。
- (10) 会場準備及び会場の片づけについては、大会事務局の指示に従い参加チームで行うこと。
- (11) 県協会および大会関係者は、参加者の負傷、傷病、障害及び会場の備品破損に対しては一切の責任を負わないものとする。（チームの責任で処理をすること。）
- (12) 参加に要する経費は、すべて参加者負担とする。
- (13) 本実施要項に記載のない事項については、フットサル委員会にて決定する。